

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立吉田高等学校

学校番号(42)

評価実施日		令和5年2月22日(水)	
委員	氏名	所属等	備考
	池田 多津子	学校評議員	
	山口 賢司	学校評議員	
	岩村 修子	学校評議員	
	水野 一正	学校評議員	
	小林 綾子	学校評議員	
	丸尾 富士夫	元県立学校教員	
	長岡 道夫	元吉田高校PTA会長	
	新城 裕志	宇和島市立吉田中学校長	
	森山 しげる	吉田高校PTA会長	
	高山 久詞	吉田高校PTA副会長	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
1 今年度の最終評価について (1) 学習指導 ・ 平常時の平均学習時間が48.6分であり、少なく驚いた。 ・ 工業科の実習を見学させてもらったが、生徒は熱心に取り組んでいた。 ・ 公開授業の参観に行きにくい。PTA総会を公開授業の時に実施してみてもどうか。 (2) 生徒指導 ・ 保護者による街頭指導の時に、生徒から挨拶されることが少なく、寂しい思いをする。 ・ 「みだしなみ指導」では教員による厳しい指導も必要だが、生徒の呼びかけ等によって改善していくのが望ましい。 (3) 進路指導 ・ 個に応じた進路指導が行われており、ありがたい。 ・ 高校で資格を取得したことが刺激となって、専門学校への進学後も積極的に資格取得に励んでいる。 (4) 学校行事・部活動等 ・ 高校の文化祭と吉田町の秋祭りが同日に開催されている件について、保護者からの提言にもあったが、文化祭を別日に開催することは出来ないだろうか。 ・ 部活動をよく頑張っている。生徒の活躍によって、地域全体が盛り上がる。		・ 部活動に熱心に取り組んでいることも一つの理由ではあるが、放課後、教室に残って学習している生徒が少ない。また、家庭での学習時間も少ない。 ・ 学習環境の整備に向けて、現在、図書室の一部に個別学習スペースを設けることを検討している。 ・ PTA総会の実施時期については、提言を踏まえて検討する。 ・ 生徒会が中心となって、正門等での挨拶運動を行っており、生徒主体の活動を通じて、挨拶の輪を広げていきたい。 ・ 現在、生徒会と協議しながら校則等の見直しを行っている。分かりやすい基準を考え、提示していきたい。 ・ 補習授業等を更に充実させて、生徒の進路実現を支援したい。 ・ 更に資格取得を奨励し、生徒の興味・関心の幅を広げていきたい。	
2 施設・設備について ・ 予算は限られていると思うが、できればトイレの改修を進めてもらいたい。 ・ 寮の活用・充実を図れないだろうか。		・ トイレの整備については、同様の意見を多くいただいている。現時点では清掃を丁寧にするしかないが、保健委員が消臭剤を置き、補充等も行っている。 ・ 現在、寮の改修工事をおこなっており、新年度からは利便性が大幅に改善される。	
3 情報発信・交流活動について ・ 地域から応援される学校となれるように、魅力の発信、地域住民との交流に力を入れてもらいたい。 ・ 吉田高校での「吉中生・体験活動」を実施してもらい、感謝している。もう少し早い時期に実施できないだろうか。 ・ 介護施設ではコロナ禍で直接生徒の皆さんと会うことは難しいが、お花や年賀状等をもらい、感謝している。		・ ホームページ等では精力的に発信を行っているが、ホームページを見ない方への発信方法について検討していく。 ・ 中学校と連絡を取り合い、決定したい。 ・ コロナ禍で交流が難しかったが、徐々に交流を増やしていきたい。	